

じんげん ア ジ ー ル asile

秋冬号
2019

大谷大学広報誌

「社会福祉学コース」は生きた学びを大切にする——
社会から学ぶ、人に寄りそう力



社会から学ぶ 人に寄りそう力

専門的な資格や知識がなくても、さまざまなまちづくりに積極的に関わる学生がいます。
「社会福祉学コース」の彼女たちが教室を出て向かう先は、
過疎地や障がい者施設など社会的支援を必要とする方が過ごす場所。
「見て・聞いて・触れる」ものすべて生きた学びとなる、リアルな社会との接点です。
そんな学びを実践している彼女たちにそれぞれの体験談を聞いてみました。

Discussion about O.T.A.N.I





「社会福祉学コース」は生きた学びを大切にする

1年生からとにかく現場へ

中野 私が日頃から「行ってきなさい！」って言っているからか、みんないろいろな現場に行っていますね。

赤枝 私の場合は講義を受けているだけじゃダメだと思って、2年生になってすぐ先生に相談したんですね、「何かない？」って。それで教えてもらったのが、京都駅の夜まわりボランティア。ホームレスの方たちを支援する取り組みで、毎週木曜日の夜10時から1時間ほど駅構内を歩いています。

三明 私は興味があれば何でもやってみることにしていて、赤枝さんに誘われた夜まわりもそのひとつ。1年生の時には、松本さんたちと舞鶴のインターンシップや、ハンセン病について学ぶゼミにも参加しました。

中野 舞鶴ではどんなところを訪問したの？

松本 高齢者のショートステイや障がいを持つ子どもが遊ぶ場所、地域包括支援センターなどを3日かけて周ってきました。

中野 「まだ1年生で福祉の勉強は始めたばかりだから予備知識なしですけど、お願います」という感じでしたね。

松本 でも案内役の方がとても親切だったので、初めてでもすんなり入っていききました。

行くことで変わる社会の見方

中野 実際に行ってみたい、どうだった？

赤枝 夜まわりに行くまでは、ホームレスの方たちとうまくコミュニケーションが取れるの不安だったけど、実際は明るく話されるのでびびりませんでした。最近では普段自分たちがしゃべるような会話をしています。

中野 夜まわりは安否確認や行政情報の伝達も大切。そして人と人がつながる機会。

時間をかけてじっくり話せる関係にしたいですね。

三明 私はホームレスの人たちが身近にいるんだと、知ることができたことが何よりも大きいですね。

中野 事情があつて仕方なくホームレスになった方ばかりですから。なぜ人がホームレスになるのか、社会の仕組みのなかにある問題を考える必要があります。

三明 ほかの夜まわりメンバーから話も聞けるので、自分の知らない世界をもっと見たいなと思うています。

中野 松本さんはどう？

松本 舞鶴のインターンシップに行った時、案内してくださった社会福祉士の方が、歳の離れた高齢者の方たちとすくすくいい関係を築いておられて、やりがいのある仕事だなと感じました。

中野 近年は高齢者の孤立が社会の大きな問題だから、その社会福祉士のような方は貴重な存在ですね。

三明 その方のおかげで「福祉」に対する見方も変わったというか、舞鶴に行って「福祉」が地域と密接に関わることをつくづく感じました。

尽きない現場経験の話題

中野 みんないろいろな経験しているから、語り出したら止まらないね。

赤枝 今はもっと「福祉」を知りたい、ボランティアに行きたいって思えるけど、最初はイヤイヤで(笑)。1年生の夏休みのインターンシップは、授業の宿題として参加しました。

中野 3日間福祉施設で体験してくるプログラムだね。

赤枝 障がい者施設っておもしろくないって思っていたけど、会ってみたら利用者の方との会話が楽しくて、福祉に対する考え方が変わりました。

中野 そういう経験談を、ほかの専攻の人

に話したことはある？

三明 ある授業で、ほかの学生と福祉をテーマにグループトークする機会があつて、「優生思想」のことを話しましたが、知らない人が多くて驚きました。知らなくても生きていけるかもしれないけど、知っておくべきことだと思うんです。でも「知らない人が多い、それが今の世の中なんだ」と実感しました。

中野 いろんなアプローチがあるから一概に言えないけれど、「福祉」を学んでいると「命」に関わる社会問題は避けて通れないですね。でも、大谷大学が「他者に寄りそう」「一番弱い人を大切にしよう」という考えを根本においているから、本来はいろんな角度から話し合うべきなんだと思います。

目指すのは、やっぱり社会福祉士

中野 最後に将来どうしたいか、聞かせてくれるかな。

松本 私は舞鶴で出会った方みたいに、地域包括支援センターで働きたいですね。

赤枝 私は医療ソーシャルワーカーという仕事に就きたいと思っています。おじいちゃんが亡くなった時、もっとやってあげられることがあったなと思うことがあったので。

中野 そうした職場で働くには社会福祉士の資格が必要だね。三明さんも資格は取るのかな。

三明 まだ具体的な目標はないけれど、資格は取っておきたいですね。そしていずれは「福祉」をとおして、まちづくりに関わる仕事ができたらと思っています。

中野 実際の社会に出るにはもっと経験が必要だし、制度や財源の問題も知らないといけないけど、みんな熱意があるからきっと大丈夫。修了したら社会福祉士の受験資格も取得できます。国家試験の合格も目指して、この調子でがんばってね。



社会学部コミュニティデザイン学科
社会福祉学コース/第2学年

赤枝 美帆



社会学部コミュニティデザイン学科
社会福祉学コース/第2学年

三明 侑由



社会学部コミュニティデザイン学科
社会福祉学コース/准教授

中野 加奈子



社会学部コミュニティデザイン学科
社会福祉学コース/第2学年

松本 想代

2019年3月18日(月)～5月31日(金)

人文情報学科松川ゼミ「駅ナカアートプロジェクト」に参加

人文情報学科(倉光先生サポート)の松川ゼミが、京都市内の地下鉄12駅構内をアート作品で彩る「駅ナカアートプロジェクト」に参加しました。

このプロジェクトは「大学のまち京都」「文化芸術都市京都」ならでは、学生が創作したアート作品を京都市営地下鉄の各駅に展開することによる、地下鉄のイメージアップと活性化、京都の文化芸術の発信を目的とした取り組みです。

今年度のテーマは「photogenic」で、松川ゼミは北大路駅において、大学のロゴを使った作品や、書道部や写真部の作品などを、京都らしい和風の作品に仕上げて展示しました。

今回のプロジェクトに参加した人文情報学科第4学年の深見和希さんは、「私たち松川ゼミが北大路駅を担当するのは今年が初めてでしたので、お祭り気分で盛り上げたいと思います、さまざまな展示を企画しました。展示作品も好評をいただき、このような経験ができたことに深く感謝したいと思います」と語ってくれました。



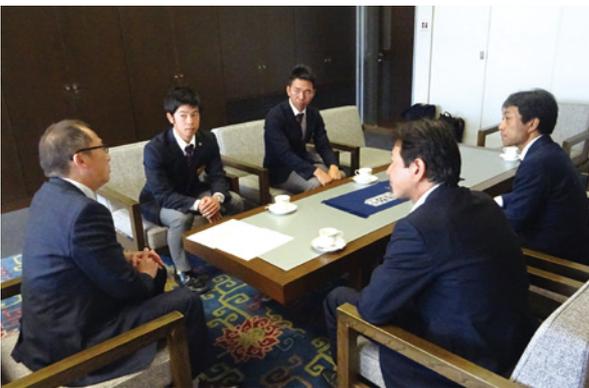
2019年5月22日(水)

本学硬式野球部が1部昇格を報告

1部昇格を報告

5月22日(水)、本学硬式野球部(京滋大学野球連盟2部に所属の円城寺凱斗主将(文学部社会学科第3学年)、異浩主務(文学部国際文化学科第3学年)が、箕浦暁雄部長、井上浩司監督とともに学長室を訪問し、木越康学長(京滋大学野球連盟会長)に同連盟2部春季リーグ戦の優勝と1部への昇格の報告を行いました。

本学硬式野球部は、2019年度京滋大学野球連盟2部春季リーグ戦において10勝2敗で同率1位となり、1部昇格をかけた滋賀大学との優勝決定戦において3対0で勝利し、3季ぶりの1部昇格を果たしました。



2019年5月29日(水)

キャリアデザインcafeを実施

全学部第1～3学年を対象に、第4学年の先輩から就職活動の話を聞く会として「キャリアデザインcafe」を開催しました。

参加した第1～3学年の学生たちは、筆記試験や面接など就職活動に関する疑問や不安に感じていることなどを聞きました。先輩たちは後輩たちの質問に対して気さくにいろいろな答えをくれました。先輩たちもいほど盛り上がっていました。お菓子をつまみながらのリラックスした雰囲気のおかげで、就職活動の話だけではなく、大学生活のことやアルバイト、授業の話など、たくさん話題があつという間の90分でした。



2018年度秋季～2019年度春季大会結果

CLUB INFORMATION

硬式野球部

●令和元年度 京滋大学野球連盟 春季リーグ戦

Ⅱ部1位(Ⅰ部昇格)

【最優秀選手賞】野路愛輝(社会学部現代社会学科第2学年)
【ベストナイン】外野手、野路愛輝(社会学部現代社会学科第2学年)

2019年6月28日(金)

短期大学部幼児教育保育科主催「大谷探検隊」実施

短期大学部幼児教育保育科が主催する「大谷探検隊」が実施されました。「大谷探検隊」は、本学附属の大谷幼稚園の園児を招いて、幼児教育保育科の学生たちと学内を探検するというものです。

午前中は、園児と学生がペアになり学内探検を楽しみ、午後からは、体育館アリーナで学生たちの考案したさまざまな運動遊びを行いました。学生は子どもたちを迎えるための準備や活動とおして、実践的な学びを得ながら、園児たちに喜んでもらえるようさまざまな工夫を凝らしていました。今回リーダーを務めた幼児教育保育科第2学年の川那部恵さんは、「授業で学んだことを活用したり仲間とアイデアを出しあうなど、現場に出てからも必要になることを体験し、その大切さを実感しました」と語ってくれました。



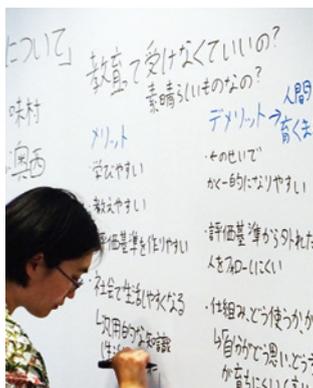
2019年7月5日(金)

2019年度 第3回哲学カフェ

第3回哲学カフェを7月5日(金)に開催しました。哲学カフェとは、日常の中の気になる「なんで？」と一緒に考えてみる場です。毎回違ったテーマを決めて、さまざまな学部学科の学生が集まり議論しあいます。

今回は、学部生6名、大学院生1名、一般参加4名の参加があり「教育について」というテーマで議論を行いました。

哲学カフェは、慶間館2階サブゼミスペースを会場にして、定期的開催されており、誰でも気軽に参加することができます。



バドミントン部

●平成30年度京都学生バドミントン選手権大会

男子ダブルスB

優勝 福本翔一(文学部教育・心理学科 第3学年)

九野雄志(文学部社会学科 第3学年)

準優勝 平塚志門(文学部真宗学科 第4学年)

鈴木湧生(文学部真宗学科 第4学年)

男子シングルスB

準優勝 九野雄志(文学部社会学科 第3学年)

3位 鈴木湧生(文学部真宗学科 第4学年)

女子ダブルスB

3位 八尾菜奈果(文学部歴史学科 第3学年)

井澤鼓(文学部教育・心理学科 第3学年)

●平成30年度京都学生バドミントンクラス別大会

女子シングルスA

優勝 村田佳奈(文学部歴史学科 第1学年)

3位 高嶋春佳(社会部コミュニケーションデザイン学科 第1学年)

女子ダブルス

優勝 村田佳奈(文学部歴史学科 第1学年)

高嶋春佳(社会部コミュニケーションデザイン学科 第1学年)

●平成31年度京都府知事杯争奪

京都学生バドミントンリーグ戦大会

女子3部 1位(2部昇格)

スポーツチャンバラ同好会

●第4回近畿スポーツチャンバラ学生選手権大会

有級有段男子団体戦の部 敢闘賞

混合女子団体戦の部 準優勝

混合女子橋小太刀の部 第3位

仲田瑞希(文学部歴史学科 第3学年)

※学生の学年は、大会時のものです。

人事情報

PERSONNEL INFORMATION

依願退職

【事務職員】

相馬晃(学生支援部)

水谷賢雄(総務部)

【事務系嘱託】

竹村なつえ(企画入試部)

【学習支援アドバイザー】

田鍋良臣

萬田恵子

2019年5月31日付(各通)

2019年4月30日付

2019年9月30日付(各通)

2019年7月17日(水)

GLOBAL SQUARE主催 「バージニア工科大学生との交流会」開催

GLOBAL SQUAREでは、英語圏の学生と英語で交流する機会を提供し、グローバルな視野を持つきっかけとすることを目的として、7月17日(水)に「バージニア工科大学生との交流会」を開催。京都日本語学校に夏期短期研修に訪れているアメリカのバージニア工科大学生と交流しました。

今回は英語と日本語を交えたゲームを行い、参加者全員で楽しむことができました。その後、飲み物やお菓子を味わいながら歓談をし、記念撮影をして交流を終えました。

GLOBAL SQUAREでは、後期も外国語に関するイベントや留学生との交流会を開催予定です。興味のある学生はぜひ参加してください。



新オリジナルグッズ「オリジナルハッ橋」販売開始

本学では、井筒ハッ橋本舗®とコラボし共同開発したオリジナルハッ橋の販売を3月15日(金)に開始しました。

箏曲の祖・八橋校の遺徳を継承した琴姿の堅焼せんべい「井筒ハッ橋」に本学のロゴマーク、メッセージをプリントし、パッケージもオリジナルのデザインを採用しました。

また、同社の生ハッ橋入り「三笠」も商品化し、学内コンビニにて販売しています。

京都のお土産として、お立ち寄りの際にはぜひご購入ください。



→ 詳しい情報は…大谷大学ホームページ <http://www.otani.ac.jp/2019aw>

＼Pick Up!／ 谷大生

学内・学外活動で活躍している
学生にインタビューしました



「ミス・アース・京都」としてラジオイベントに出演し環境保護の情報発信に取り組んでいます!

文学部真宗学科
第3学年
高橋 るり

■活動を始めたきっかけ

私は実家のお寺を継いで就職になりたいと考えています。仏教離れが進む現代で仏教に興味がない方にも耳を傾けてもらうために、スピーチや美しい振舞いなどもっと自分の人間的な魅力を高めたいと思い、挑戦しました。



■今後の目標は?

環境問題をテーマにしたミスコンなので、私なりの方法で仏教×環境を発信し続けたいです。私という存在をきっかけに、仏教や環境問題に関心を持つ方が増えたらこれ以上嬉しいことはないです。学業との両立を頑張ります!



■やりがいは?

環境系シンポジウムで京都市の門川市長のアテンドをさせていただいたり、今まで学んでこなかった「自分の魅せ方」を専門の先生方から教えていただいたり、たくさんの貴重な経験、勉強をさせていただいています!



University festival

—紫明祭2019—

多くの笑顔や思い出が生まれる紫明祭。今年も最高の思い出をつくろう！

今年度のテーマは

心にシメイをもって！

こんにちは！今年もこの季節がやってきました！

2019年度学園祭実行委員会委員長を務めております前田貴俊と申します。

11月8日(金)～10日(日)の3日間、大谷大学の学園祭である「紫明祭」を開催します。私たち学園祭実行委員一同、皆さまに楽しんでいただけるよう、日々準備を進めております。

2019年度の紫明祭のテーマは「心にシメイをもって！」です。紫明祭の「紫明」と、実行委員会が中心となつて学生・大学・地域が協力しあい学園祭を成功させる「使命」の意味が込められています。

大谷大学では、多くの学生が勉強に励みながら、クラブ・サークル活動で仲間と共に活動しています。そんな学生たちが各団体ごとに模擬店を

出展します。教室展示やステージ発表では、普段の活動や練習の成果を披露する場にもなっています。

紫明祭では、イベント数、内容ともに充実したものを予定しています。芸能人のトークショー、本学生が活躍する音楽イベント、後夜祭のパフォーマンス、昨年度好評だった一般の方が参加できるカラオケイベント、大道芸人・ミュージシャンのパフォーマンスイベントなど、今年も盛りだくさんです。また、今年の新イベント、ものまねイベント

は一般の方も参加できます。今年も来場者の方が楽しめる内容ばかりとなっています。

紫明祭の詳細については大谷大学学園祭実行委員会のホームページやSNSにて更新してまいりますのでご確認ください。



学園祭実行委員会委員長
文学部 教育・心理学科
第3学年
前田 貴俊

Event schedule

イベント スケジュール

HP <https://shimeisai.wixsite.com/shimeisai>

Twitter: @shimeisai



11/8 [FRI]

前夜祭

17:00～18:50



11/9 [SAT]

■駐輪場前特設エリア

パフォーマンスイベント

①10:00～10:30 ②16:00～16:30

■サンクンガーデン
特設野外ステージ

内部音楽イベント

11:00～15:20

カラオケイベント

16:30～18:00

11/10 [SUN]

■講堂

プロタレントイベント

11:00～12:00

■駐輪場前特設エリア

パフォーマンスイベント

①10:00～10:30 ②12:30～13:00 ③15:00～15:30

■サンクンガーデン特設野外ステージ

ものまねイベント

13:30～14:25

後夜祭

16:00～18:00



※イベントのタイトル・内容及び時間は予定のため、変更する場合があります。

谷大ライフ

Tanidai Life

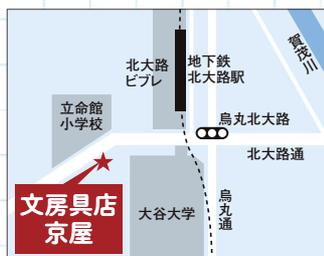
文房具店 京屋

■住所
〒603-8162
京都市北区小山東大野町53

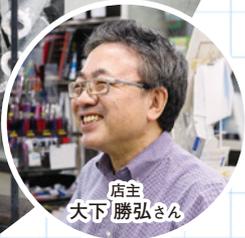
■TEL
075-441-3509

■営業時間
10:00~20:00

■定休日
日曜日



文房具の老舗
京屋さんは今年、
創業67年！



店主
大下 勝弘さん

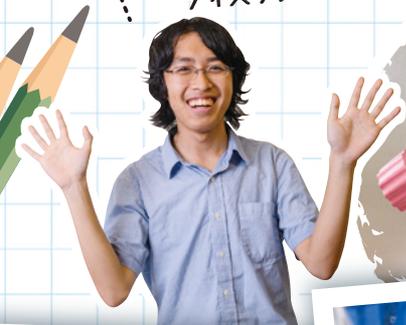
北大路で時代を見てきた 文房具店 京屋

1941年、セラー万年筆京滋代理店の開設から始まり、1973年4月、大谷大学のすぐ近くの現在の場所に画材・額縁を販売する店「京屋」としてのれんを掲げました。さらに、18年後の1991年に3階建てに建て替え、現在まで幅広い文房具や画材・額縁を扱う店として売り出していました。しかし、時代の流れで、デジタル化が進み国内の文房具の売り上げは落ちていったとか。さらに北大路には、便利な北大路ビブレが誕生して、お客さんも減っていったそうです。

ところが、実際に訪れてみると、他の店にはない魅力がたくさんありました。例えば、鉛筆などの文房具を始め額縁やパネル、右利きと左利きのどちらの人でも使えるはさみやカッターなどさまざまな文房具の豊富な品揃えや、日本製にこだわった文房具などがありました。近年、質の高い日本製の文房具を求めて、外国人観光客の来店が増えたそうです。



天井には大きい絵の具の
ディスプレイ！



文房具や
画材などが
所狭しと
並んでいます！





優しい主人が
気軽に相談に
乗ってくれますよ！



今だからこそ伝えたい アナログの良さ

デジタル化が進んできた今の時代。小学生もスマートフォンなどのデジタル機器を使う時代になってきて、パソコンや携帯電話に文字を打ち込むことで文章を作ることが多くなりました。また、学生がよく使う電子辞書は非常に便利なものですが、それによって英語のつづりを覚えなくなってしまう学生が増えているそうです。紙の辞書を使うと、アルファベットを見て単語を探すことで頭を使うし、前後のページにまで目を通すことで得る情報も多くなります。店主も「特に小学生は絶対にアナログを使って勉強するべきです。デジタルに慣れると将来文字を書けなくなるかもしれない」とおっしゃっていました。このお店では、そのようなアナログの良さを大切にして、できるだけ多くのお客さんにアナログのものを使ってほしいという思いがあるそうです。

老若男女問わず、愛され続けるわけ

「どんなお客さんがこられますか？」と質問すると、「幼稚園児から高齢者の方、アマチュア、プロの画家などさまざまなお客さんがこられます」と答えてくださいました。

お店には、プロのアーティストの方が買いに来るだけあって、日本製の質の良い商品がほとんどです。アマチュアのアーティストや、絵を描くことを趣味としている高齢者の方も多く来店します。また高校生など勉強に力を入れている方々も多く来店するそうです。商品の種類が豊富で、自分の好みにあったものに手に入れることができます。

ですが、北大路ビブレにも百円均一や文房具店があるなか、これだけ幅広い層の方が利用するのは、幅広い品揃えと質の良さだけが理由ではありません。求めている商品を伝えれば、相談に乗ってくださったり、アイデアを出してくれるお店の雰囲気が愛され続けている理由だと思います。

どんな商品があるのが行って見てみるのも面白いかもしれません。

今回は、**書道部** 所属の4名で
取材を行いました！



白井 芳佳
社会学部現代社会学科
第1学年

本多 希衣
文学部教育・心理学科
第3学年

足立 和成
文学部教育・心理学科
第3学年

武田 亮馬
文学部教育・心理学科
第3学年



自らの人生を切り開いていけるよう、キャリアセンターを大いに活用しよう。

2018年度就職決定状況

2018年度文学部卒業生の就職率(就職者÷就職希望者)は、97.4%、短期大学部は100.0%と、高い就職率を維持することができました。(詳細は左ページ参照)

これは、企業の高い採用意欲が維持されたことありますが、何よりも学生一人ひとりが最後まであきらめずに活動したことによるものです。

2018年度就職活動は、3月1日の広報解禁から一斉にスタートしましたが、近年は、インターンシップ(就業体験)や業界研究セミナーなど解禁前段階での企業と学生の接点も増えていることもあり、静かなスタートとなりました。

また、「短期集中」「学生優位(売り手市場)」以外に「働き方改革」にもなる「所定外労働時間(残業時間)」「休日・休暇」「福利厚生」などが注目されました。

早い時期から業界研究、企業研究を行い志望業界、企業の絞り込みができていた学生は3月1日以降の動き出しも早く、結果、早い段階で内定を得ることができました。6月1日の選考解禁以降、内定を得たことで就活を終了する学生が多いのも近年の傾向と言えます。

一方、動き出しが遅い、準備が不十分な場合は、就活が長期化するなど、準備の差による学生の二極化がより明確となっています。

現在の就職環境

2019年度の就職活動も、3月

1日の広報解禁から一斉にスタートしました。

近年は、インターンシップ、業界研究セミナーなど事前に企業を知る機会が増えていますが、スタートに合わせて各種の「合同企業説明会(合説)」が開催されました。大谷大学主催の合説には2日間で60社の企業に参加いただき、のべ300名の学生が参加しました。

合説後、学生は個別の会社説明会への参加、エントリーシートの提出を経て、選考に臨みました。今年度も早期に内定を得る学生も多く、内定を得たことで就活を終了し、通常の大学生生活に戻った学生が2018年度よりもさらに多くなりました。

5月の連休明けからは、1日1社の企業を招いた単独企業説明会も開催しました。単独説明会でじっくり話を聞いたことで企業理解も深まり選考に繋がるケースも多くありました。

大企業の採用活動が終了した7月以降は、3月からの採用活動で募集人数を満たせなかった企業や中堅小企業などの採用活動が本格化しています。秋以降は、教員採用試験、公務員試験の結果を受けた企業の採用活動が展開されます。

キャリアセンターでは、個々の学生の状況に応じた相談・情報提供などの支援を継続して行います。

今後の就職支援

経団連の「採用選考に関する指針」に関する対応や「通年採用」に関する言及は、今後の就活スケジュールや

就活自体に影響を及ぼす可能性があります。

キャリアセンターでは、常に情報を収集し支援に反映させていきたいと考えています。

2019年度は、第3学年の就活スケジュールが早期化することを想定し、第3学年前期から夏のインターンシップ参加に向けたガイダンスを開催しました。

他、これまでに就職活動プロセスの説明、「就職のてびき」の配布、自己発見診断(自己理解)、SPIや筆記試験対策、履歴書作成や業界研究に関する就職ガイダンスを実施しています。

また、10月以降は、履歴書作成のための個人面談、企業研究、職種研究、ビジネスマナー、面接対策などの支援企画を実施します。特に、この時期に必要なのは、履歴書・学生時代に力を注いだこと、私の特徴)作成のための個人面談です。履歴書は採用選考の際に必要な書類ですので、早期に取り組むことが大切です。

今後実施の支援企画については、大谷大学ユニバーサルパスポート(通称「ユニパ」)、掲示、メールなどで

第1学年、第2学年のみなさんへ

就職活動と言ってもまだ実感が湧かないかもしれませんが、各学年・日々の学生生活で得た経験・キャリアが卒業後の進路に大きく関わってきます。

企業が求める力として、「コミュニケーション力」「主体性」「協調性」などが挙げられます。これらの力は容易に身につくものではありません。日頃から学業だけでなく、クラブ活動、ボランティア、アルバイトなどで様々な人と交流することにより養うことができるものです。また、社会(会社や業界)を知る上で、インターンシップも有効な方法です。

「今しかできないこと」「本気で取り組めるもの」を見つけるためにも、様々なことに挑戦し幅広い経験を積んで欲しいと思います。



お知らせします。

なお、教員、公務員をめざす学生、進学希望の学生は、別途支援してまいりますので、相談してください。

2021年3月卒業・修了予定者対象 【今後の就職支援ガイダンス等】

- ・履歴書作成のための個別面談(10月)
- ・10月就職ガイダンス(面接対策)
- ・11月就職ガイダンス①(業界職種研究)
- ・11月就職ガイダンス②(企業研究)
- ・就職活動マナーガイダンス(11月)
- ・1月就職ガイダンス

(志望届作成ナビサイトの見直しハローワーク利用登録会
学内合同企業説明会(3月)
就職ガイダンス求人票の見方内定について(3月)

2018 (平成30) 年度卒業生進路決定状況

文学部

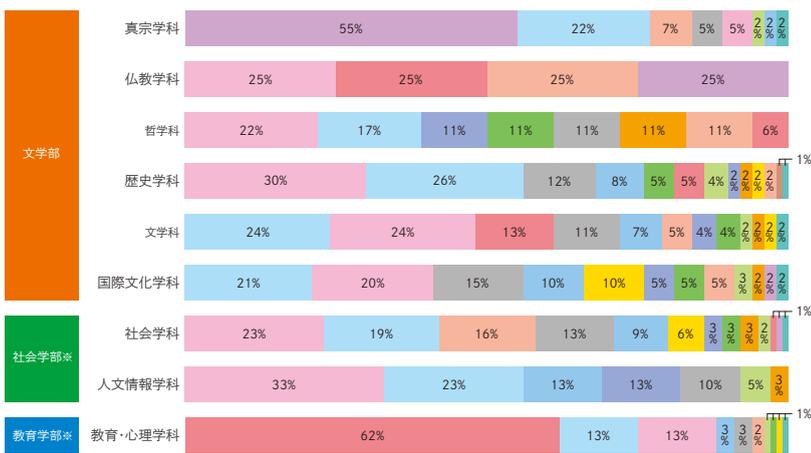
卒業生	就職希望		進学			聴講生科目等	一時的な仕事に就いた者	左記以外
	就職者	就職活動継続	大学院	大学短大専修学校	進学			
602	485	13	23	9	4	27	41	

就職率 = $\frac{\text{就職者}}{\text{就職希望者}}$	進路決定率 = $\frac{\text{進路決定者}}{\text{卒業生}}$
97.4%	85.9%

※進路決定者=就職者+進学者

- 小売業
- サービス業
- 教育・学習
- 福祉・医療
- 卸売業
- 宗教
- 製造業
- 情報通信業
- 建設業
- 国家公務・地方公務
- 不動産業
- 運輸業
- 金融・保険業
- 農林水産業

業種別就職状況 (2018年度)



※社会学部については2018年度文学部社会学科および人文情報学科の状況、教育学部については2018年度文学部教育・心理学科の状況を記載しています。

2018年度就職先(抜粋)

大学

- 建設業
(株)コトネットエンジニアリング/(株)岡野組/(株)かねわ工務店/(株)デザオ建設/(株)カモタ/(株)クリハランド/(株)オンテックス/(株)内田組/本田鉄工/(株)まごころ住宅/(株)住居時間
- 製造業(メーカー)
(株)コトネットエンジニアリング/(株)岡野組/(株)かねわ工務店/(株)デザオ建設/(株)カモタ/(株)クリハランド/(株)オンテックス/(株)内田組/本田鉄工/(株)まごころ住宅/(株)住居時間
- 卸売業
貝印(株)/ジェイアール西日本商事(株)/日本ロリアル(株)/(株)ティーガイア/(株)トリアルカンパニー/(株)ロマンズ小杉/ツカキグループ/和光(株)/(株)安本武司商店/(株)三笑堂/(株)増田医科器械/石黒メディカルシステム(株)/合鏡産業(株)/高圧ガス工業(株)/ニシムラ(株)/パナソニック電材京都(株)/滋賀特機(株)/山中商会/(株)大松/(株)キンギコム/(株)アメフレック/(株)カワタキコーポレーション/(株)アイガー/(株)大黒商会/(株)元廣/こと京都(株)/総合食品エスイエ/(株)CUBE2 JAPAN/(株)NAKAGAWA/ラサ商事(株)/(株)グリムス/(株)TDモバイル/(株)エキップ/(株)スタージェエリ/オルガン針(株)/天龍木材(株)/(株)扇港電機
- 小売業
(株)平和堂/(株)ハートランド/(株)オートバックス/(株)上新電機(株)/(株)エディオン/(株)ビックカメラ/(株)ヨドバシカメラ/(株)セブンイレブン・ジャパン/京都生活協同組合/(株)マツモト/(株)鼓月/(株)京ろまん/(株)紫野和久傳/金氏高麗人参(株)/(株)たねや/はるやま商事(株)/(株)赤ちゃん本舗/スーベニール/(株)コーナン商事(株)/(株)コスモネット/(株)パローホールディングス/スキホールディングス(株)/(株)アインファーマーズ/(株)コスモス薬品/(株)クワシ/Aオキ/(株)ユタカファーマシー/シミス薬品(株)/(株)ゆうホールディングス(ゆう薬局グループ)/(株)エスファーマシー/京滋ユアサ電機(株)/(株)GRIPS/MXモバイリング(株)/(株)思文閣/As-meステール(株)/ネットヨタヤサカ(株)/(株)カーポートマルゼン/(株)リパティ/ノブトラレーダース(株)/(株)ミル総本社/(株)テレアースジャパン/(株)ヤマムラ/(株)WorldLink&Company/(株)JAM TRADING/佐竹食品(株)/(株)オオサカムセンデンキ/(株)サンリッシュ/(株)関西マツダ/(株)バル/(株)テレポーター/(株)メガネパートナー/(有)インターネット/(株)ムラサキスポーツ/(株)BANKANわものや/(株)ツツミ/(株)スズキ自販西埼玉/(株)ソフ/(株)IDOM/(株)タイフレイク/リベラルソリューション(株)/合同会社PVHジャパン/アーケラドサカモト(株)/(株)大越仏壇/(株)大阪キョーギグループ(株)/(株)プラザハウス
- 金融・保険業
京都中央信用金庫/京都北都信用金庫/大阪信用金庫/大同信用組合/日本中小企業福祉事業財団/淡陽信用組合/(株)徳島銀行/大分県農業共済組合
- 不動産業
(株)長栄/(株)フラットエージェンシー/(株)エリツ/京都建物(株)/(株)アーキエムス/日本エスリード/(株)エテルナ/(株)アーネストワン/(株)ハウスドゥ/(株)ランドネット
- 福祉・医療
東住吉森本病院/桜十字病院/宇治徳洲会病院/京都清水メディケアシステム/洛和会ヘルスケアシステム/京都西陣会/(株)ファルコハイオシステムズ/南山城学園/嵐山寮/終陽福祉会/七野会/清和会/フジの会/城陽福祉会/児童養護施設教育葉学園/福岡/くらしのハーモニー/上京ワークハウス/向日市留守家庭児童会/全電通近畿社会福祉事業団/特別養護老人ホームレインボー今里/幸寿会/(株)雅/SOMPOケア(株)/横浜やまびこの里/三富福祉会/上越市社会福祉協議会
- 保育園
松ヶ丘保育園
- 幼稚園
野洲市(幼稚園教諭)/岩倉幼稚園/永観堂幼稚園/菊の花幼稚園/京和幼稚園/聖光幼稚園/とぎわ幼稚園/山崎幼稚園
- 認定こども園
なないろこども園/幼保連携型認定こども園宮前つばさ幼稚園
- 教育・学習
京都府教育委員会/京都市教育委員会/福知山市教育委員会/宇治市教育委員会/木津川市教育委員会/長岡京市教育委員会/向日市教育委員会/八幡市教育委員会/大阪府教育委員会/大阪市教育委員会/大阪府豊能地区教職員人事協議会/高槻市教育委員会/茨木市教育委員会/豊中市教育委員会/寝屋川市教育委員会/滋賀県教育委員会/愛宕町教育委員会/近江八幡市教育委員会/甲賀市教育委員会/栗東市教育委員会/奈良県教育委員会/奈良市教育委員会/兵庫県教育委員会/尼崎市教育委員会/田辺市教育委員会/日高川町教育委員会/東真町教育委員会/福井県教育委員会/静岡県教育委員会/松山市教育委員会/北九州市教育委員会/京都府立総合高等学校/大阪高等学校/彦根総合高等学校/(株)ワザス/(株)成学社/学研エス・スタッフィング
- サービス業
京都市農業協同組合/京都農業協同組合/北河内農業協同組合/たじま農業協同組合/魚津市農業協同組合/鳥取中央農業協同組合/うま農業協同組合/(株)テイルウィンコーポレーション ウェスティンホテル大阪/(株)炭屋旅館/(株)京都ホテル/アーバンホテルシステム(株)/(株)口
- 卸売業
コネクシオ(株)
- 小売業
(株)ランドアバウト
- サービス業
紀南農業協同組合

- まびこの里/三富福祉会/上越市社会福祉協議会
- 保育園
松ヶ丘保育園
- 幼稚園
野洲市(幼稚園教諭)/岩倉幼稚園/永観堂幼稚園/菊の花幼稚園/京和幼稚園/聖光幼稚園/とぎわ幼稚園/山崎幼稚園
- 認定こども園
なないろこども園/幼保連携型認定こども園宮前つばさ幼稚園
- 教育・学習
京都府教育委員会/京都市教育委員会/福知山市教育委員会/宇治市教育委員会/木津川市教育委員会/長岡京市教育委員会/向日市教育委員会/八幡市教育委員会/大阪府教育委員会/大阪市教育委員会/大阪府豊能地区教職員人事協議会/高槻市教育委員会/茨木市教育委員会/豊中市教育委員会/寝屋川市教育委員会/滋賀県教育委員会/愛宕町教育委員会/近江八幡市教育委員会/甲賀市教育委員会/栗東市教育委員会/奈良県教育委員会/奈良市教育委員会/兵庫県教育委員会/尼崎市教育委員会/田辺市教育委員会/日高川町教育委員会/東真町教育委員会/福井県教育委員会/静岡県教育委員会/松山市教育委員会/北九州市教育委員会/京都府立総合高等学校/大阪高等学校/彦根総合高等学校/(株)ワザス/(株)成学社/学研エス・スタッフィング
- サービス業
京都市農業協同組合/京都農業協同組合/北河内農業協同組合/たじま農業協同組合/魚津市農業協同組合/鳥取中央農業協同組合/うま農業協同組合/(株)テイルウィンコーポレーション ウェスティンホテル大阪/(株)炭屋旅館/(株)京都ホテル/アーバンホテルシステム(株)/(株)口
- 卸売業
コネクシオ(株)
- 小売業
(株)ランドアバウト
- サービス業
紀南農業協同組合

- イェルホテル/(株)ザ・ワンザン・ホテルズインターナショナル/大江戸温泉物語ホテルズ&リゾート/(株)住文(北ビフコホテルグライエ)/ALSOK京滋(株)/総合警備保障(株)/セントラル警備保障(株)/(株)きんそく/(株)キミコン/(株)王将フードサービス/くら寿司(株)/(株)フクナガ/(株)文屋フーズカンパニー/(株)マルクス/鍾屋あくと川/(株)ゴリッパ/(株)TSUJIYA GROOVE/(株)丸由/(株)きらく/(株)ビロー/日本レストランシステム(株)/(株)glob/礎むすび/(株)JAPAN SOLUTIONS/エン・ジャパン(株)/(株)トラスト・プラン/小西共和ホールディング(株)/(株)トヨタレンタリース京都/アラマコユニフォームサービスジャパン(株)/カワモリ産業(株)/(株)ダイサン/(株)カミヤ/(株)ワキタ/ワタキューセイモア(株)/(株)イー・インターナショナル/新日本ウエックス(株)/(株)白洋舎/(株)ベルコ/(株)平安/ユウヘル(株)/(株)メビウス/東愛産業(株)/(株)カーゾック/東亜非破壊検査(株)/ブロンクス(株)/(株)エスユーエス(株)アーキ・ジャパン/大阪モーターサービス(株)/(株)アウトソーシングテクノロジ/(株)カンソー/(株)インター・ベル/(株)エイジェック/(株)エリックス/共同エンジニアリング(株)/(株)スタップサービス/(株)セントメディア/WDB工学(株)/(株)ITTM/(株)テクノプロテクノ/IT社/(株)フルキャストホールディングス/(株)マーカーユー/UTグループ(株)/(株)ティー・アイアール/日総工産(株)/(株)ワールドインテック
- 宗教
真宗大谷派 宗務所/真宗大谷派 難波別院/真宗大谷派 八尾別院
- 国家公務・地方公務
滋賀県警察本部/見附市役所/東広島市役所/須磨市立図書館/湖北地域消防本部/防衛省 陸上自衛隊

短期大学部

卒業生	就職希望		進学		聴講生科目等	一時的な仕事に就いた者	左記以外
	就職者	就職活動継続	大学編入	大学短大専修学校			
75	65	0	3	2	0	3	2

2018年度就職先(抜粋)

短期大学部

- 保育園
あおぞら保育園/旭ヶ丘保育園/太田保育園/岡崎幼稚園/北野保育園/久世保育園/くわの実保育園/こくま白雲北保育園/西念寺保育園/桜のつばさ保育園
- 幼稚園
園/紫雲保育園/知真保育園/どんぐり幼稚園/(株)なと/羽東師保育園/東桂成保育園/菩提寺優愛保育園/モンチ/村松保育園/森の子保育園/野洲優愛保育園/モンチ/淀白鳥保育園/洛北幼稚園/るんびーに保育園/若帖保育園
- 幼稚園
あかね幼稚園/岩倉幼稚園/小野幼稚園/御堂幼稚園/衣笠幼稚園/錦綾幼

就職率 = $\frac{\text{就職者}}{\text{就職希望者}}$	進路決定率 = $\frac{\text{進路決定者}}{\text{卒業生}}$
100.0%	93.3%

※進路決定者=就職者+進学者

- 園/見台さくら/認定こども園五和保育園/摂津峡認定こども園/端山の丘こども園/東山こども園/認定こども園富士見が丘幼稚園/ゆめのりこどもえん/陸ヶ岡こども園
- 施設
和敬学園
- 製造業
(株)ホシパック

- 卸売業
コネクシオ(株)
- 小売業
(株)ランドアバウト
- サービス業
紀南農業協同組合

大谷大学・大谷大学短期大学部 財務概況

2018年度決算

2018年度決算は、公認会計士および監事の監査を経て、2019年5月21日に開催された学校法人真宗大谷学園理事會において決定されました。

本学の会計は、公認会計士による監査を定期的に受けて処理しています。

また、「計算書類は、「学校法人会計基準」に従って、「資金収支計算書」「事業活動収支計算書」「貸借対照表」を作成しており、毎年、決算承認後、文部科学大臣に届け出ています。

資金収支計算書

資金収支計算書は、教育研究等の諸活動に対応する資金の収入と支出のほか、当該年度内において現実に収納し、また支払った資金の収入と支出について、その顛末を明らかにするものです。

資金収入には、授業料や入学検定料、寄付金、国からの補助金のほか、次年度の授業料等の前受金等が含まれます。

資金支出は、教職員の人件費や、学生の教育研究および学生生活に関わる教育研究経費の他に、学生募集・広報等の管理経費と、施設や設備関係支出があります。

事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、経常的な収支である教育活動収支、教育活動外収支と、臨時的な収支である特別収支に区分し、それぞれに対応する事業活動収入と事業

活動支出の内容を明らかにするとともに、基本金組入後の均衡の状態を示すものです。

貸借対照表

学校法人の目的である教育研究活動を達成するためには、施設や設備など膨大な運用財産を必要とします。貸借対照表は財産保有の状況を表し、財産が適正に維持・管理されているかどうかを示すものです。

なお、本学園全体の貸借対照表はホームページで公表しています。

●2018年度資金収支計算書(2018年4月1日～2019年3月31日) (単位/円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	3,517,879,750	人件費支出	2,807,348,706
手数料収入	153,814,140	教育研究経費支出	923,183,537
寄付金収入	216,134,571	管理経費支出	510,653,661
補助金収入	614,619,453	借入金等利息支出	5,166,200
国庫補助金収入	610,921,653	分担金等支出	11,060,000
地方公共団体補助金収入	3,697,800	借入金等返済支出	211,100,000
付随事業・収益事業収入	32,130,505	施設関係支出	88,349,684
受取利息・配当金収入	73,188,275	設備関係支出	98,815,077
雑収入	266,894,648	資産運用支出	300,000,000
前受金収入	638,223,240	その他の支出	48,621,525
その他の収入	403,593,224		
資金収入調整勘定	△ 891,680,557	資金支出調整勘定	△ 52,451,600
前年度繰越支払資金	4,161,886,624	翌年度繰越支払資金	4,234,837,083
収入の部合計	9,186,683,873	支出の部合計	9,186,683,873

●2018年度事業活動収支計算書(2018年4月1日～2019年3月31日) (単位/円)

	科目		金額
	収入の部	支出の部	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	3,517,879,750
		手数料	153,814,140
		寄付金	151,577,018
		経常費等補助金	599,609,453
		付随事業収入	32,130,505
	事業活動支出の部	雑収入	273,637,430
		教育活動収入計	4,728,648,296
		人件費	2,815,679,650
		教育研究経費	1,441,035,094
		管理経費	549,305,164
	徴収不能額等	8,000	
	教育活動支出計	4,806,027,908	
	教育活動収支差額	△ 77,379,612	
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	70,121,012
		教育活動外収入計	70,121,012
	事業活動支出の部	借入金等利息	5,166,200
		教育活動外支出計	5,166,200
	教育活動外収支差額	64,954,812	
	経常収支差額	△ 12,424,800	
特別収支	事業活動収入の部	その他の特別収入	88,586,866
		特別収入計	88,586,866
	事業活動支出の部	分担金等	11,060,000
		資産処分差額	5,178,818
		特別支出計	16,238,818
		特別収支差額	72,348,048
	基本金組入前当年度収支差額	59,923,248	
	基本金組入額合計	△ 436,735,732	
	当年度収支差額	△ 376,812,484	
	前年度繰越収支差額	974,097,160	
	基本金取崩額	0	
	翌年度繰越収支差額	597,284,676	

(参考)

事業活動収入計	4,887,356,174
事業活動支出計	4,827,432,926

2019年度予算

2019年度予算は、2019年3月25日開催の学校法人真宗大谷学園理事會において当初予算が決定され、本年度の在学生数が確定した後、7月11日に開催された理事會において補正予算が決定されました。

2019年度は、学習支援事業として、開設6年目を迎えた学習支援室や文藝塾運営のための費用を計上しています。また、地域連携室「コミュ・ラボ」を中心に、より一層の学修支援の充実と大学の地域連携事業の推進を図ります。国際

化の推進として、2019年度は、英語、中国語の語学研修及び「インドの宗教と文化」の文化研修を計画しています。

また、就職支援では、インタビューシツプ参加希望者に対応するためのアドバイザーによる相談体制の強化、またキャリア形成の一環として「自己発見診断」などを実施し、企業の採用活動の実質的な早期化に対応するための支援体制を整備します。

2019年度も本学の教育研究の一層の充実を図るために予算を執行してまいります。

大谷大学・大谷大学短期大学部 2018年度事業報告

教育に関する事業

① 仏教教育センター

2018年度より3学部からなる教育体制がスタートすることを機に、仏教による人物の育成及び宗教的環境の醸成に資することを目的とした全学共通の仏教教育センターを開設しました。

開設初年度となる2018年度は、現行の仏教教育活動並びに宗教行事について、関係委員会及び事務部局と連携し、活動を展開しました。

具体的には、人間学1担当学識の開催や「きょうのことば」事業の推進、新入生本山参拝時におけるセンタール長講話の実施、御命日動行における講話者の人選等、「宗教教育に関する事項」「宗教行事に関する事項」「大谷派教師課程に関する事項」についての取り組みを進めています。

② 学習支援室

2014年度に開設した学習支援室では、リメディアル教育に主眼を置き、学習支援アドバイザーによる基礎英語・日本語の読み書きを中心とした、きめ細やかな個別指導を行っています。

2018年度の来談者は、のべ2,052名となり、多くの学生の個別指導を行いました。また、2017年度に引き続き、学習支援アドバイザーが担当する授業科目（「英語」「日本語表現」と連携するなど、支援体制の強化を図っています。

③ 教職支援センター

第4学年を対象として、4月から5月にかけて京都市、大阪市、滋賀県等の教育委員会の説明会等で学生が情報を得る機会を作ったほか、4月から6月の期間で教員採用試験直前講習を実施しました。

2019年度の教員採用試験名簿登録決定者（2019年3月31日現在把握分）は、中等科では福井県1名、中高等学校では京都府1名、京都府5名、滋賀県3名、大阪府1名、大阪市3名、豊能地区1名、兵庫県2名、奈良県1名、愛知県2名、静岡県1名、神奈川県1名、北九州市1名、特別支援学校では京都市1名、滋賀県2名となりました。また私立高等学校には2名、私立幼稚園・保育園には10名が採用試験に合格しました。

第3学年以下を対象とした採用試験受験対策として「面接試験の対策と実践」を実施したほか、「大谷教師力養成講座 小学校全科」を開催しました。また、論文セミナー、面接セミナー、各採用自治体を想定した願書記入説明会などのサポートを行いました。教員免許更新講習

習については、5月から12月に本学と地方10都市で必修領域4講習、選択必修領域7講習、選択領域26講習を開催しました。受講者は、卒業生と関係学校の先生を含め、延べ2,736名（実人数1,145名）でした。また、地方開講の講習の一部で教員講習開設事業費等補助金を得ました。

④ 地域連携室

社会学部開設初年度となる2018年度は、各種の地域連携プロジェクトへの学生参加が促進されました。

社会学部コミュニティデザイン学科第1学年の必修科目「伝記づくりプロジェクト」では、響流館1階に移設された「コミュラボ」が活動拠点として活用されました。また、2017年度に引き続き、京都市北区から受託した「学区まちづくりビジョン策定補助事業」「ビジョン策定マニュアルの作成」「132人の学生及び教職員が参加した「祇園祭ごみゼロ大作戦」のほか、以下の中川学区の暮らし再発見プロジェクト「中川社会福祉協議会と連携して、北区まちづくり提案支援事業の助成を受けた本学学生グループとともに、北区の山間地域におけるQOLの維持・向上に向けて、(1)真弓地区におけるサロン活動、(2)杉坂地区におけるニーズ聞き取り調査、(3)健康いきいきサロンの共同実施、(4)高山寺由来の茶木を生かした中川茶育・製茶事業の4種の事業を展開しました。*Quality of life(暮らし)を推進事業として、京都市が地域連携型の実践的教育プログラムを公募する「学まち連携大学促進事業」に、本学の「北区・北大路地域を中心とした大学・地域連携事業」が2016年度に採択されています。事業期間は、2016年10月、2020年3月の3年半です。2018年度は、北大路のコミュニティ情報を収集し、Webサイト「キタキタサイト」の公開やコミュニティラジオ放送局「RADIO MIX KYOTO」を通じて、番組「大谷大学HAPPY HOUR」を制作し発信する「地域情報の発信プロジェクト」等を実施しました。

⑤ 語学学習支援室(GLOBAL SQUARE)

語学学習支援室では、日常的な学習支援としての語学勉強会（英語、仏語、独語、韓国語、中国語、日本語）を実施しています。また、韓国及び中国からの留学生や英語対応が可能な留学生がGLOBAL SQUAREにアシスタントとして在室し、留学希望の学生や短期海外研修に参加する学生が利用するなど、実践に向けた取り組みを実施することができました。

⑥ 図書館の学修・教育支援環境の充実

利用者の声を図書館運営にとり入れる組織的な取り組みのため、学生向けに学生選書プロジェクト、セミナー単位での書店ツアー、利用アンケート、投書制度館長直々、図書館総研カタリバ×カフェなどを総合研究室と一体となって継続実施しました。これらの様々な取り組みへの学生参加者は増えており、図書館に親しむ機会も増えています。

学生支援に関する事業

① 奨学金制度の充実

大学院英奨学金について、他大学院の奨学金制度を情報収集し、成績基準や選考基準の見直しについて検討しました。

② キャリア支援

2019年3月卒業・修了予定者の就職を支援するため、第3学年後期から本格的な就職ガイダンス（自己理解・業界研究・職種研究等）を開催しましたが、昨今の企業採用スケジュールに対応できるよう2020年3月卒業・修了予定者については、第2学年の後期からの開催に変更しました。また、第1学年を対象に今後の学生生活を送る上で目標を定めること、そのための動機づけとなることを目的として実施した「自己発見診断」については、自らの強みを再確認するとともに学生生活において成長した点が確認できるよう第3学年進級時に「自己発見診断II」を実施しました。

各種講習については、開講内容を大幅に見直し、「キャリア支援案内」も刷新しました。特に、公務員採用試験受験対策講習の案内を開設初年度である社会学部及び教育学部の学生を中心に、両学部の教員と協力し早い段階からの準備の重要性を説明しました。その結果、125名（2017年度76名）が受講しました。10月以降、「警察」「消防」「地方公務員」「国家公務員」など公務員の種類や仕事の理解を深めるガイダンスを実施したところ、のべ60名の出席がありました。

研究に関する事業

① 真宗総合研究所

本研究が推進する研究活動の中心に位置づけられるのは、大学が主体となって進める共同研究「特定研究」に「指定研究」です。

2018年度は、「特定研究」として学長が研究代表者を務める新しい時代における寺院のあり方研究、「指定研究」として国際仏教研究、ベトナム仏教研究、西藏文献研究、清沢満之研究、東京分室指定研究の6研究班

が研究を遂行しました。また、研究所直轄プロジェクトとして、大谷大学史料室、デジタル・アーカイブ資料室の2資料室を置き、関係資料の収集・整理を継続的に進めました。

教員個々の主体的な関心に基づく研究活動である「一般研究」は、科学研究費助成事業に採択された研究（29件）、2019年度以降の科学研究費助成事業申請のための予備研究（1件）、個人研究の本研究1件、計31件の研究を推進しました。加えて2017年度から本学に業務移管された東方仏教徒協会（EBS）の全事業を、本研究の指定研究である国際仏教研究班の研究事業と位置付け、英文学術誌「The Eastern Buddhist」誌の出版を中心に事業を遂行しています。また、「仏教を基軸とする国際的研究拠点の形成と人間学」の推進が文部科学省平成29年度「私立大学研究ブランドイノベーション」に選定され、本研究を主体として事業を推進しています。

② 社会への開放

① 生涯学習講座 2018年度前期の生涯学習講座については、開放セミナー2講座、紫明講座4講座、博物館セミナー1講座を開催しました。後期は、開放セミナー3講座、紫明講座4講座を開催しました。学外団体へは、京都市が行う「京あるきin東京2019」（2019年3月開催）へ1講座、近鉄文化サロンとの共催講座へ1講座を提供しました。また、大学コンソーシアム京都の「京カレッジ大学リレー講座」へ1講座を提供しました。

② 博物館 博物館では、毎年、1回の特別展と4回の企画展を実施しています。

春季企画展では、「大谷大学のあゆみ」として「清沢満之と真宗大学」をテーマに展示を行いました。夏季企画展では、京都の年中行事を本学が所蔵する京都関係の資料から紹介しました。秋季企画展では、会期中に本学において開催された日本宗教学会の協賛展示として清沢満之、西田幾多郎、鈴木大拙に関する資料を展示しました。展示資料の一部は、交流協定館である鈴木大拙館と石川県西田幾多郎記念哲学館から借用しました。また、あわせて実習生展（3班）を行いました。冬季企画展では、本館所蔵のアジアの仏教典籍を伝言やジャーナルを中心に紹介しました。特別展では、高山藩主の金森家ともゆかりの深い大坊の数々の寺宝を中心に、中部山村地域に脈々と受け継がれてきた真宗信仰の世界を紹介しました。

2018年度の実績としては、開館日数148日、入館者数7,335名となりました。

教育後援会だより

「地区保護者懇談会」開催について

「地区保護者懇談会」とは、教育後援会役員ならびに大谷大学長ほか、学生支援部の職員が当該地域に赴き、大学の現状をご報告します。また、当日は学生の成績表をお配りし、修学状況等についての個別相談に応じます。今年度後期は、左記のとおり開催予定です。ぜひご出席くださいますようお願い申し上げます。



2018年度 大谷大学フェア(近畿) 公開シンポジウムの様子



2018年度 東海地区(岐阜会場) 保護者懇談会の様子

北海道地区保護者懇談会 ※
2019年10月20日(日) 札幌国際ビル <大谷大学フェア(北海道)開催> (北海道札幌市中央区北4条西4丁目1)
近畿地区保護者懇談会
2019年11月30日(土) 草津商工会議所 <大谷大学フェア(近畿)開催> (草津市大馬路2丁目11-51)
四国地区保護者懇談会 ※
高知会場 2019年12月7日(土) 高知県立県民文化ホール(高知県高知市本町4丁目3-30)
高松会場 2019年12月8日(日) サンポートホール高松(香川県高松市サンポート2-1)

※…該当地区に在住の保証人へ案内。
・大谷大学フェアでは、公開講演会、進学相談会を開催。
・会場については変更になる可能性があります。ホームページまたは案内状をご確認ください。

「100円朝定食」7月、9月実施!

今年度の100円朝定食は、例年実施されている7月の定期試験期間中に加え、保護者からの要望により9月の後期授業開始時にも実施しました。

この100円朝定食は、教育後援会・同窓会・大谷大学からの補助により、朝定食(和食・洋食)が、100円(ごはん・味噌汁おかわり自由)で提供されています。

多くの学生に利用され、7月、9月それぞれ約1,000食分の利用がありました。

朝ご飯をしっかりと食べて定期試験に臨み、また後期の学生生活のリズム改善にも役立つようです。

次回は、後期定期試験期間中(1月)に実施予定です。学生のみなさんは是非ご利用ください!

「100円朝定食」利用者からのコメント

- ・試験期間中の楽しみ!朝ご飯を食べて試験を頑張ろうと思う。(短/幼教2年)
- ・期間中は、ほぼ毎日来ている。100円だと財布にもやさしくて嬉しい。(文/国際4年)
- ・いつもは朝ご飯を食べないので、栄養がとれて良い。(短/幼教2年)
- ・100円朝定食の時間に合わせて大学に来た。初めて利用したが、内容が充実していて驚いた。次回も絶対利用したい。(文/教・心3年)



教育後援会

大谷大学教育後援会は、全在学生の保証人が会員となって組織され、大谷大学の教育・研究の発展と、学生生活環境の整備・改善に支援を行っています。また、会員相互ならびに会員と大学との交流を深めることも目的に、各種の活動を行っています。なお、毎年、役員会・評議員会を開催し、さまざまな事業を企画・推進しています。

詳しい情報は… 大谷大学ホームページ
→ <http://www.otani.ac.jp/kouyuu>

OTANI古本Projectにご協力ください!

現在、本学では、「OTANI古本Project—ヒロガル×ツナガル学生支援—」を行っています。このプロジェクトは、読み終えた本、不要になった本(DVD・CD・ゲームを含む)を寄付することで、寄付された書籍は、社会へ還元され、いただいた寄付金は在学生が選ぶ大学図書(学生選書プロジェクト)の本の購入費用等となる寄付事業です。

古本は、郵送または大学図書館設置の回収ボックスで回収可能です。この機会にぜひ、「OTANI古本Project」にご参加ください。詳しくは、大谷大学ホームページをご確認ください。

大谷大学古本募金 検索

※買い取り価格は需要と供給で決まるため、寄付していただいた書籍等の状態が良くても値段がつかないこともありますので、ご了承ください。

※「OTANI古本Project」では、値段がつかない書籍等を、運営会社の株式会社バリューブックスを通じて、国内の福祉施設、図書館、海外の教育研究機関等に寄贈します。



お問い合わせ先

教育振興資金事務局
(大谷大学総務部 校友センター内)

TEL: 075-411-8124 FAX: 075-411-8157
E-mail: kouyu@sec.otani.ac.jp

教育振興資金寄付者 (敬称略)

【個人】

青木 琢也 (愛知県)	徳山 隆秀 (新潟県)
青藤 忍 (愛知県)	中原 浩治 (兵庫県)
浅田 純 (長崎県)	長谷川 誠 (愛知県)
飯田 政一 (滋賀県)	菱田 隆 (大阪府)
稲垣 晃映 (富山県)	熊彦 俊彦 (滋賀県)
大森 昌光 (秋田県)	藤井 了栄 (山形県)
加賀 手良雄 (愛知県)	本多 佐保美 (千葉県)
加藤 隆至 (広島県)	村林 勉 (栃木県)
門脇 さつき (鳥根県)	安田 智之 (京都府)
木曾 順彦 (石川県)	山下 良之 (京都府)
久木野 裕一 (大阪府)	吉川 彰 (兵庫県)
佐々木 憲一 (大阪府)	吉原 保 (大阪府)
佐々木 真也 (滋賀県)	吉原 敏夫 (京都府)
佐藤 智水 (福岡県)	渡辺 智香 (神奈川県)
高尾 和人 (新潟県)	匿名 31件
武田 真 (新潟県)	

【法人・団体】

有限会社 石間企画事務所	代表取締役 石間 裕 (東京都)
キョニクス株式会社	代表取締役 齋藤 隆夫 (滋賀県)
株式会社 喜楽研	代表取締役 岸本 菜穂子 (京都府)
株式会社 丹後乳販	代表取締役 井上 泰典 (京都府)
吉村建設工業株式会社	代表取締役 吉村 良一 (京都府)
浄善寺	高尾 和人 (新潟県)
常福寺	八田 裕生 (東京都)
匿名 5件	

◆件数 73件 ◆寄付金総額 11,602,000円

2019年2月1日から2019年6月30日までの間、教育振興資金局へご寄付いただいた方々のご芳名は左記のとおりです。

このたびは、募金活動にご協力いただき、ありがとうございます。ご寄付いただきました資金は、教育・研究の充実を図るための環境整備に充ててまいります。

今後も引き続き、募金のお申し込みを受けつけておりますので、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

税法上の優遇措置について
本学は文部科学大臣から、特定公益増進法人の証明(所得控除制度、ならびに税額控除にかかる証明 税額控除制度)を受けております。寄付者(個人)の選択により、どちらか一方の税法上の優遇措置を受けることができます。確定申告の際、領収書を添えて申告をしてください。

教育振興資金(募金)について

OUR TEACHER

私たちの先生

文学部 真宗学科 教授

井上 尚実

真宗学科国際コースのゼミ生4名が、井上ゼミの内容や先生について紹介してくれました。

専門/大乗としての浄土/真宗の近代化/普遍宗教としての浄土真宗
1984年京都大学文学部哲学科仏教学卒業
1991年大谷大学大学院修士課程修了
1995年カリフォルニア大学サンタバーバラ校大学院修士課程修了
2010年博士号取得
2003年大谷大学専任講師、2010年同准教授、現在に至る。



視野を広げて、異文化から 真宗の教えに近づく。

私たちは、2018年度に新設された真宗学科国際コースの井上ゼミ1期生です。国際的な視点で真宗をとらえるという、新たな試みに関心を持つ学生が集まりました。このようなゼミが初めてということもあり、先生と学生が試行錯誤しながら特色のあるゼミをつくり上げている過程です。

井上ゼミならではの学びでは長期休暇中に海外研修があり、英語ネイティブのコンウェイ先生(真宗学)の引率で、私たちはカリフォルニアに2週間滞在。現地の大学で聴講したり、教会やモスクでほかの宗教の方から話を聞いたり、自由時間を利用して町へ出かけたり、現地の空気感をリアルに体験してきました。そんな私たちに井上先生は「海外へは行った方がいいよ。できればひとりで」とアドバイス。先生自身、若い頃にヨーロッパ各地を巡った経験をお持ちだそうで、いろんな話を聞かせていただいています。

4年生になった今は「歎異抄」の英訳版を読み進め、価値観が異なる人にとのように真宗の教えを伝えるかも研究。テキスト中心の座学ですが、根本にあるのは海外研修と同じく視野を広げる学びです。寺離れが進むこれからの時代に備えて「僧侶としていかに生きていくか」を考える側面もあり、将来的に自坊に帰る予定の学生にもおすすめのゼミと言えますね。

先生からのMessage

『歎異抄』に記された親鸞の言葉を主体的に、実存的な問いをもって読むことは、若いうちは難しいところがあるかもしれません。自分が大学生だった昔を思い出してみても、悩みや不安を抱えつつ能天気で、『歎異抄』を読んでも生き方の根本を問う声として響いてきませんでした。それから40年たった現在の私は、ゼミの発表やディスカッションを聞いていて、「どうしてこの大切な意味に気づけないのだろう?」と短気を起こすこともあります。やはり一人ひとりが自分で気づいていくプロセスが大事なのだと思います。

北米研修などを通して経験の幅を広げつつ、まずはしっかり辞書を引いて『歎異抄』を精読し、親鸞が伝えようとしたメッセージを正しく受け取る努力をしましょう。坂東性純先生の味わい深い英訳を合わせ読むことで、親鸞思想の普遍性も感じとれるはずです。大学生のいま飲み込めなくても、長い人生のどこかで必ず、「ああ、この言葉は私のために語られたのだ」と腑に落ちるときが来ます。



私たちが
紹介
しました



真宗学科/第4学年
藤田 恵日



真宗学科/第4学年
千部 良介



真宗学科/第4学年
青木 大智



真宗学科/第4学年
山川 晃大

時代をみつめる

「は」と「が」の物語

来日してから25年を迎えようとしている。来た当初は全く日本語ができなかった私が、今や「関西人みたいですね」と言われるまでに。それは言葉のことか性格のことか。いまだにわからないままだが：。何にしろ嬉しい限りである。そして、周りからこんなことを言われて舞い上がってしまった私は、いつの間にか「私は日本語を完璧に操ることができる」と思い込むようになってしまっていた。

ところがある日こんなことが。とある学術論文を日本語で書くことになり、最終的にやはりネイティブチェックが必要かと、同じく研究仲間であるA氏に校正をお願いした。しかし、原稿が戻ってきたら真っ赤っ赤!! 恐る恐る見ると、「は」としていたところがほとんど「が」に、「が」としていたところが「は」になって返ってきた。そして訂正後、A氏が不在だったため別の研究仲間であるB氏に見ていただいた。一度ネイティブチェックが入っているので今度は完璧だろうと、原稿を待っていたが、戻ってきた原稿がまた真っ赤っ赤! え!? と思って見て

みると、また「は」と「が」の訂正。今度はA氏が訂正した「は」のほとんどが「が」に、「が」のほとんどが「は」に、訂正されていた。つまり、一番最初に私が書いたものとはほぼ同じ文章になって返ってきたのだ。

結局どれが正しいのだろうと混乱してしまった。日本語をさらに磨こうと本を探すと、「は」と「が」が本題になっているものまで出版されていて、それで勉強したが、結果は今も赤字訂正が続いている。

20数年前、大阪外大で学んだ文法事項としての「は」と「が」の使い方外に、ネイティブならではの使い方があるなあと悟った。なぜそうなるのかと尋ねたら、両氏は「日本人としての勘です」と言われた。今の目標は、次の5年の間に何とかしてその「勘」を身につけることである。



文学部 仏教学科
准教授
ダシュ ショバ ラニ
専門分野/インド学・仏教学

時代を照らす仏教のことば

諦あきらかに聴け、
諦あきらかに聴け、
善よく之これを思念せよ。

『長阿含経』(『大正大藏経』第1巻1頁)

編集後記

今回は、教室内にとどまらず、その学びを学外で実践している多くの学生の話を聞くことができました。机に向かっているだけでは得られない、知識や経験を得ているようです。在学生の皆さんには、外の世界に身を置き、さまざまな文化や人と出会うことで、日頃の学びをより深めてほしいと思います。

(編集担当)